



木製の宝船を揺らしながら、手渡しする住民ら
11月20日、日置市吹上の船木神社

日置市吹上の船木神社で20日、住民らが木造模型船を手渡ししていく「船こぎ祭り」があった。見物人も加わり、約70人が境内で輪になって「エンヤオー、エンヤオー」のかけ声とともに豊作や家内安全を祈った。祭神の猿田彦命が海路で大和の国から吹上まで、大汝牟遲命の供をした神話があり、航海の安全を祈る祭りが転化したといわれる。宝殿には船の模型約60隻が納められており、最も古いものは天明6(178

豊作祈り「エンヤオー」

日置市吹上で船こぎ祭り

6) 年と記されている。同日は23隻を使用した。参加者は船を抱え上げて3度大きく揺らし、時計回りで隣の人に渡した。地元の上田尻自治会長、深川正治さん(71)は「高齢化や人口減が進む中、地域外の人に参加してもらい、一体となれてよかった。伝統ある行事をしっかり継承していきたい」と語った。刀踊りも奉納された。

【問1】 船こぎ祭りは、いつどこであったのでしょうか。

3月20日に日置市吹上の船木神社であった

【問2】 船こぎ祭りは、誰が何をしていく祭りなのでしょうか。

住民らが木造模型船を手渡ししていく祭り

【問3】 船こぎ祭りで何を祈るのでしょうか。

豊作や家内安全

【問4】 船こぎ祭りの由来について、()をうめましょう。

祭神の(猿田彦命)が海路で大和の国から(吹上)まで、(大汝牟遲命)の供をした神話があり、(航海の安全)を祈る祭りが(転化)したといわれる。

【調べてみよう】 身近な地域の伝統行事について調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

吹上(ふき・あげ) 木造(もく・ぞう) 模型(も・けい) 手渡し(て・わた)し
境内(けい・だい) = 神社や寺の敷地(しき・ち)の中。 豊作(ほう・さく) 祈(いの)った 供(とも)
航海(こう・かい) 宝殿(ほう・でん) 隻(せき) 納(おさ)め 抱(かか)え 揺(ゆ)らし 隣(となり)
高齢(こう・れい) 減(げん) 地域(ち・いき) 伝統(でん・とう) 継承(けい・しょう)
踊(おど)り 奉納(ほう・のう) = 神や仏にさしあげること。

